

とらと
19町村

南とがち

- ▶ 広尾町 ◀
- ▶ 大樹町 ◀
- ▶ 忠類村 ◀
- ▶ 更別村 ◀
- ▶ 中札内村 ◀

■ 広尾支局

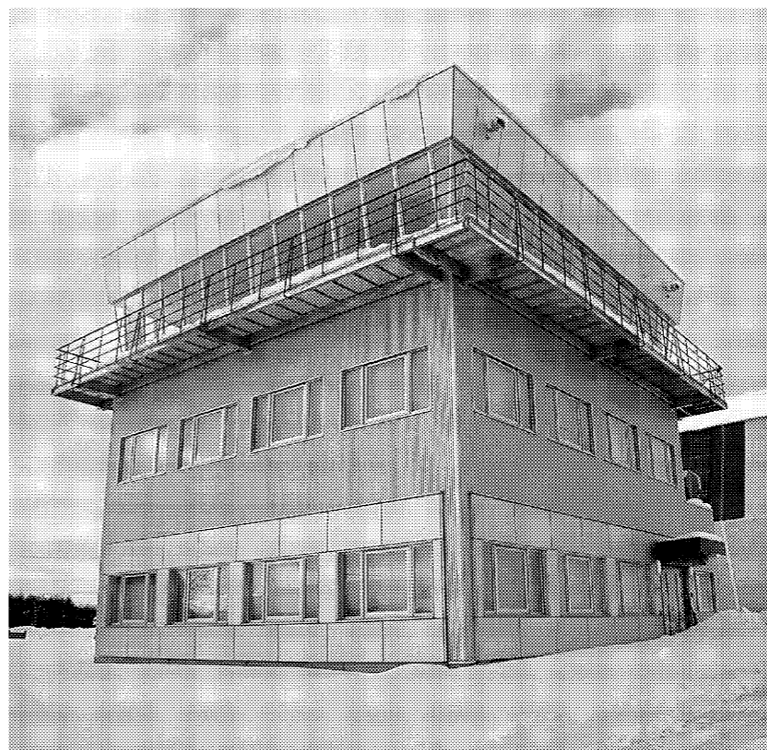
広尾町並木通西1丁目1
☎01558-2-4111

■ 本社地方部

帯広市東1条南8丁目
☎0155-22-2121

大樹・成層圏プラットフォームホーム
まるで
宇宙基地
実験用
施設紹介

◇ 4 ◇



飛行船の操縦をする実験支援棟。後方は実験機を収納する格納庫

飛行船を遠隔操縦する“心臓部”

大樹町多目的航空公園内に、3階建ての実験支援棟がある。飛行船を遠隔操縦するほか、各種の飛行データや気象データを集積、分析する。実験場の“心臓部”といえる重要な施設だ。

飛行船を使い、通信や放送、地球観測を目指すのが成層圏プラットフォーム計画。春以降、大樹で行う定点滞空飛行試験では、60級級の飛行船を使う。無人機のため、支援棟では操縦や実験にかかわる各種の指令も出す。飛行機でいえばコックピットに当たる。

飛行試験では、遠隔と自動操縦により、上空約4000mまでプロペラ動力で移動。一定位置に機体を常駐させる技術を確立する。上昇、

降下、回収などの運転技術も確認する。半年間で計30フライトを予定している。支援棟は飛行船を収納する格納庫の南隣にある。鉄骨造りで、延べ床面積は約520平方メートル。

3階が操縦席となる。やや斜めになった窓ガラスから実験場全体が見渡せる。機体の方向転換に使うハンドリングエリア(円形、半径70メートル)や滑走路が眼下に眺められる。離陸、帰還する飛行船の位置も手に取るように分かりそうだ。

2階は機体や地上レーダーから集めたデータを分析する機器が並ぶ。1階は打ち合わせを行う会議室がある。(浅井文人)

実験支援棟